

平成 17 年 10 月 19 日

報道機関各位

東北大学大学院環境科学研究科

統合国際深海掘削計画 (IODP) における研究航海の開始について

このたび、統合国際深海掘削計画 (IODP) において、下記のとおり、米国の提供するジョイデスレゾリューション号が、東太平洋中米沖において掘削を行うこととなりましたのでご案内いたします。

この航海には、欧米の参加者に加え、我が国から 7 名の研究者が参加する予定です。東北大学からは、東北大学大学院環境科学研究科 平野 伸夫 助手が参加することとなりました。

IODP は、海洋科学掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動の解明、地震発生メカニズムの解明及び地殻内生命の探求等を目的として研究を行う国際研究協力プロジェクトであり、2003 年 10 月 1 日より我が国と米国によって開始されました。その後、欧州 12 カ国で構成される欧州海洋研究掘削コンソーシアム (ECORD)、中国が参加し、国際的な推進体制が構築されています。IODP では、現在我が国で建造している地球深部探査船「ちきゅう」のほか、米国が提供する科学掘削船、欧州が提供する特定任務掘削船 (MSP) の複数の掘削船を用い、科学目標を達成するため戦略的かつ効果的に研究を行うこととしています。

記

1. 東北大学から参加する研究者

東北大学大学院環境科学研究科 平野 伸夫 助手
専門：地球化学・水熱化学

2. 日程 (現地時間): 2005 年 10 月 29 日カナダ・ヴィクトリア港を出航。東太平洋中央海嶺 (別添図参照) にて掘削を実施。2005 年 12 月 29 日パナマ・バルボア港に帰港 (掘削航海終了)。

気象条件や調査の進捗状況等によって変更の場合あり。

(お問い合わせ先)

東北大学大学院環境科学研究科

土屋範芳・平野伸夫

TEL: 022-795-6335 (土屋)・6336 (平野)

FAX: 022-795-6335 (土屋)・6336 (平野)

nhirano@mail.kankyo.tohoku.ac.jp